

目次

□巻頭言 建設機械の進歩……………半谷哲夫/1
 建設機械の生産、輸出入の動向……………栗原靖一/3
 東北新幹線上野地下駅の施工計画……………鎌田 覚
 中尾吉宏/9
 NATMの施工実績——国鉄会津線大戸トンネル……………青木長英
 土田英昭/15
 トンネル掘進機の施工実績——国鉄篠ノ井線
 第3白坂トンネル……………岩田始典
 木下繁信/21
 日下川放水路工事の概要……………塚本義昭
 高井良之進/28

グラビヤ——日下川放水路トンネル工事

建設機械の安全評価手法に関する提案……………田中康之
 本田宜史/35
 シールド掘削機の測定、制御のための土圧計……………畑村洋太郎/42
 □随想 ある写真計測のはなし……………安河内春生/48

□昭和53年度官公庁、建設業界で採用した新機種

建設省……………本田宜史
 佐々木輝夫/52
 日本国有鉄道……………藤田庸彰/58
 日本鉄道建設公団……………浅香正賢/60

□新機種ニュース……………調査部会/67

□整備技術

コースト——機械土工の例(2)……………整備技術部会/72

□ISO規格紹介

建設機械の安全性の必要条件および
 居住性に関するISO標準規格(17)……………ISO部会/75

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
 ………………調査部会/79

行事一覧……………/80

編集後記……………(桑原・牧)/82

◀表紙写真説明▶

三菱パワーショベル MS 380

三菱重工業株式会社

本機は近年いよいよ大型化、高能率化する土木施工のニーズに応えるべく“ゆとり”を最重点に各種の斬新な技術を盛り込んで開発された最新鋭ショベルである。特にネガティブ流量制御システムにより操作レバーの応答性、エンジンの始動性、油圧機器寿命、燃費等大幅に向上を図った。また、ロングホイールベース、拡幅式クローラ、前後進2速走行システムなどから生まれる安定感、機敏な走行性能など、大型機の分野に新たな話題と信頼を提供し得るものと期待されている。

◀主な仕様▶

バケット容量	1.3~1.8 m ³ (標準 1.5 m ³)
機械総重量	38.0 t
最大掘削深さ	7.62 m
最大掘削半径	11.84 m
最大掘削高さ	10.74 m
エンジン出力	230 PS/2,000 rpm